

NITE講座

未来は「藻」が拓く

食料、エネルギー、環境を変える藻類の力

2025

9.5 金

13:00~16:30

参加費無料

本セミナーでは、我が国のバイオものづくり政策、藻類の実用化に取り組む企業の事例、2025年大阪・関西万博における日本政府館の展示内容を解説し、バイオものづくりにおける先進的な取組をご紹介します。藻類や微生物の産業利用、研究開発、政策動向に関心のある皆様のご参加をお待ちしております。

セミナー概要

開催様式

ハイブリッド(会場+オンライン)

開催場所

NITE大阪事業所
(大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16)

参加費

無料

定員

会場参加:60名

オンライン参加:1,000名

※先着順で受け付け、定員になり次第受け付けを終了します。

申込方法

こちらからお申し込み
ください。

登壇企業紹介

株式会社ちとせ研究所

(Chitose Laboratory Corp.)



CHITOSE

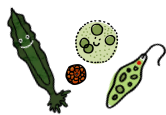
千年先まで人類が豊かに暮らせる地球環境を残すべく、生き物の力を借りて光合成を基盤とした産業構築を目指す企業です。藻類の大規模培養や用途開発など実用性の高い技術力を有し、日本と東南アジアを中心に国や多くの企業と連携しながら、持続可能なバイオエコノミーの確立を目指しています。



株式会社 Seed Bank

環境中から新規有用微細藻類株を創出する高度な専門技術を活かし、食品・化粧品・飼料など幅広い分野での高付加価値素材の開発を行うバイオ企業。藻類を軸に、地球規模の課題を解決する、新たな産業の創出に取り組んでいます。

プログラムは裏面をご覧ください



プログラム

13:00-13:10 **オープニング** 開催の挨拶 NITE 理事 梅原 徹也

13:10-13:30 **講演 1** **(仮)「バイオものづくりの社会実装に向けて」**
経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課 課長補佐 中山 真

近年、バイオテクノロジーを活用したバイオものづくりは、脱炭素や資源循環といった社会課題の解決を担う重要な技術として注目を集めています。本講演では、微生物等の活用による産業転換に向けた政策の全体像と重点施策、今後の展望について紹介します。

13:30-13:40 **講演 2** **(仮)大阪・関西万博 日本政府館におけるバイオものづくり関連の展示について**
経済産業省 商務・サービスグループ 博覧会推進室 室長補佐 鈴木 崇史

大阪・関西万博の日本館では、循環をテーマに「バイオものづくり」の未来を紹介しています。本講演では日本館での展示の魅力と見どころをわかりやすくご紹介します。

13:40-14:20 **講演 3** **Join Us Now for the Future -藻と共に創る千年先まで豊かな社会-**
株式会社ちとせ研究所 Tech & Biz Development Div. Manager 猪崎 風葉

ちとせグループが率いる「MATSURI」には、多種多様なプレイヤーが集い共にバイオ基点の持続可能な産業構築を進めています。本講演では、万博 日本館のテーマの1つである藻類に焦点をあて、マレーシアでの大規模生産の進捗や、今後の藻類産業の展望などについてご紹介します。あなたも藻と共に千年先まで豊かな社会づくりに挑戦しませんか？

14:20-15:00 **講演 4** **新規有用微細藻類株の創出と事業化への取組**
株式会社Seed Bank 代表取締役 石井 健一郎

新たな微細藻類事業を創出するにあたり、当該事業の成否を決定づける最も重要な要素は、目的に適合した微細藻類を的確な方法で培養することです。株式会社Seed Bankは京都大学で培われた独自の分離・培養・選抜技術を用いて、新たな有用微細藻類の株を確立してきました。本講演では、その技術の一端をご紹介させていただきます。

15:00-15:10 **休憩**

15:10-15:40 **講演 5** **遺伝子組換え微細藻類の第一種(開放系)使用等について**
NBRC 多様性支援課 課長 藤田 克利

遺伝子組換え微細藻類を第一種(開放系)で使用等する場合には事前に大臣承認を得る必要があり、その申請の手続きについて概略を説明します。また、申請に必要な書類の1つである生物多様性影響評価書において、遺伝子組換え真核微細藻類用に作成ガイダンスが策定されており、この内容について解説します。

15:40-16:10 **講演 6** **NBRCコレクションの紹介と活用事例**
NBRC 生物資源利用促進課 課長 福永 幸代

NBRCコレクションはバイオ産業の発展を支援することを目的として活動しており、微細藻類を含む様々な微生物を9万7千株以上保有しています。利用形態の異なる2種類(NBRC株とRD株)があり、関連する情報の提供も行っています。それぞれの特徴と利用方法、活用事例について紹介します。

16:10-16:30 **クロージング** ご挨拶、アンケートのお願い、名刺交換会 NBRC 所長 中川 恭好、事務局

